

和歌山電鐵平成25年度実績

開業後初の220万人突破も、厳しい経営は続く

輸送人員は前期比3.3%増の 223万8千人

開業から丸8年が経過した和歌山電鐵の25年度運輸実績は、以下のとおりとなりました。

(注) 消費増税による運賃改定に伴う駆け込み需要計6万人(推定)は含んでおりません。

	輸送人員	前年比	
定期外	76万9千人	102.6%	2万人増
通勤定期	68万3千人	103.0%	2万人増
通学定期	78万6千人	104.2%	3万2千人増
合計	223万8千人	103.3%	7万2千人増

定期外については、香港、台湾を中心とした訪日外国人旅客数(団体申込人数のみの集計)が前年比152.4%増の2万3千人と急増したこと、また「あと4回きっぷ」の発売により1万1千人分を計上したこと等により、開業以来2番目に高い水準となりました。

通勤定期については、前年度の不調(前期比3.9%減)から反転、回復傾向に向かっています。

また、通学定期については、ここ数年ほぼ続いている好調を維持し、開業以来最高の水準となりました。

以上の結果、年間の合計輸送人員では、過去最高の223万8千人を記録し、25年からの「チャレンジ250万人、あと4回乗って永続させよう」運動により一定の成果を得た状況です。

収入増も厳しい経営状況は 変わらず

運輸収入は、前述の駆け込み需要分を含め、前期比4.9%増の3億39百万円と過去最高の数字となりました。またグッズ販売についても、訪日旅客の増加により、前期比17.3%増と大幅に拡大しています。

しかしながら、電力料金の値上げによる動力費の大幅な上昇等により、費用も増大した結果、経営収益は4億47百万円、当期損失は81百万円となり、今期も和歌山市・紀の川市による運営補助金(上限82百万円)の範囲内に収まったものの、引き続き厳しい経営が続いています。

当期損益は 8,100万円の赤字

和歌山電鐵では、今後も更新時期の迫っている多くの設備の老朽化対策とともに、少子高齢化や並行道路の相次ぐ開通による公共交通離れ等により、依然として厳しい経営状況が続くことが予想されますが、さらなるサービス向上による沿線利用客の拡大、そして県下で展開される世界遺産登録10周年、和歌山デスティネーションキャンペーン、和歌山国体等の大型イベントを生かした国内外からの一層の誘客に努めたい、としています。

和歌山電鐵貴志川線 輸送人員の推移

(南海電鐵) ← (和歌山電鐵)

(単位:千人)

	49年度	7年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度(注)
定期外		1,017	636	716	766	800	769	758	721	749	769
対前年度比				113%	107%	104%	96%	99%	95%	104%	103%
対17年度比			100%	113%	120%	126%	121%	119%	113%	118%	121%
通勤定期		911	631	721	673	704	686	683	690	663	683
対前年度比				114%	93%	105%	97%	100%	101%	96%	103%
対17年度比			100%	114%	107%	112%	109%	108%	109%	105%	108%
通学定期		798	655	677	680	686	716	731	771	754	786
対前年度比				103%	100%	101%	104%	102%	105%	98%	104%
対17年度比			100%	103%	104%	105%	109%	112%	118%	115%	120%
合計	3,614	2,726	1,922	2,114	2,118	2,190	2,170	2,171	2,182	2,166	2,238
対前年度比				110%	100%	103%	99%	100%	101%	99%	103%
対17年度比			100%	110%	110%	114%	113%	113%	114%	113%	116%

(注) 25年度は消費増税(運賃改定)に伴う駆け込み需要60千人(うち定期外7、通勤定期12、通学定期41、各推定)を除く

「チャレンジ250万」

行政の支援はあと1年余。

あと4回多く乗って自立経営で永続させよう!!

代表から会員のみなさまへ



“つくる”会発足から10年

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口晃夫

『貴志川線の未来を“つくる”会』は10年前に当時の貴志川線の運営会社である南海電鉄がまったく突然この路線から撤退するとの話が持ち上がり、何としてもこの路線を残したい、永続させたいとの強い思いから平成16年9月に立ち上げた市民団体です。当時は何から始めたらよいか分からず手探り状態の活動でした。

しかし、一般の沿線の方々もこの貴志川線への思い入れには大変強いものがあり、我々の拙い取り組みにご理解ご協力をいただき、6000人余りの多くのご支援を賜りました。

この多くの住民利用者の熱い熱意が行政を動かし行政からのご支援、岡山電気軌道様の運営参加に繋がりました。

早いものであれから10年の年月が経ちまし

た。今新しい節目を迎えようとしています。行政からの運営補助は10年間と決められていたから、平成28年3月末には切れることとなります。平成28年4月からはどうなるのか、まだ決定はしていません。

この10年間行政、和歌山電鐵もまた我々も出来る限りの知恵を絞りいろいろな取り組みをしてまいりました。その結果乗客数は確実に増加してきています。しかし、残念ながら黒字経営というところまでは行っておりません。

28年4月以降について、話し合いを続けていますが、永続という良い結果を得るために利用者である皆様の永続を願う熱意を示す必要があります。

どうか貴志川線のご利用を、1度でも多くのご乗車をお願いいたします。

2014年度(平成26年)役員名簿

(平成26年4月12日第1回定例会確認)

役職	名前	役職	名前
代表	濱口 晃夫	幹事	梶本 祥子
副代表	奥 重 視	//	西本 哲夫
//	木村 幹生	//	川口 昌宏
事務局 長	奥山 和生	//	稲置 佳広
事務局 次長	奥 重 貴	//	織田 元宏
//	堀内 健作	//	森山 正雄
//	川村 記義	//	中川 隆人
//	富高 彰	//	藤田 宗治
会計 幹事	堀 瑛	//	内芝 あずさ
//	杉林 雅義	//	山本 滋子
//	中西 由子	//	住山 裕美
//	小山 裕史	//	次田 尚弘
//	吉本 昌純	監査	山本 好延
//	岩垣 勉	//	中西 充子
//	山下 日出子		

貴志川線の未来を“つくる”会

26年度 新規 継続 入会募集中です

引き続き貴志川線の発展へ活動が続けてまいります。26年度会費の納入につきましてご協力いただきますようお願い申し上げます。

■会 費 年額1,000円 (期間:加入日に関わらず2015年3月31日まで)

■納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944

(事務局)和歌山市伊太祈曾558 伊太祈曾神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホームで受付 7月3日(木)、4日(金)、5日(土)15:00~19:30



和歌山電鐵 これからの営業施策

和歌山電鐵株式会社

総務企画部 営業企画課長 竹添善文



貴志川線は、住民・行政・事業者の連携を強めて、懸命に利用促進に取り組んでおりますが赤字経営が続いており、行政の支援があと1年余となった現在、和歌山電鐵のこれからの基本的な営業施策について、竹添営業企画課長に寄稿していただきました。

「チャレンジ250万運動」の強化

平素より貴志川線をご利用いただき誠にありがとうございます。また、存続・永続に向けご理解と力強いご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて私どもは現在、貴志川線の永続に向け、年間利用者数250万人を目指して、「チャレンジ250万人」運動に取り組んでおります。これは、貴志川線の未来をつくる会さんが発案されたもので、利用促進イベントの開催や「あと4回きっぷ」の発売など、つくる会さんを中心に地域の皆様方と一緒に様々な施策を行っているところです。「チャレンジ250万人」運動へのご理解も広がり、地域の皆様のご支援も加わって、25年度はおかげさまで、和歌山電鐵初の年間利用者数220万人を超えることができました。

一方、社会全体で見ますと、少子高齢化や生産人口の減少など、永続していくためには避けては通れない課題もございます。そうした中において、沿線以外にお住いの方や、近年は海外からも多くのお客様がお見えになって貴志川線を支えてくださっているという現状があります。貴志川線を活用した交流人口の増大を図る取り組みも、皆様のお知恵を拝借しながら、引き続き推進していかなければなりません。

地域にしっかり根ざして

営業施策ということで考えた場合、経営理念である忠恕（真心からの思いやり）とあわせて、私が個人的に大切にしたい言葉があります。「近き者悦（よろこ）べば、遠

き者来（き）たる」。論語の一節ですが、簡単に言うと、近くの人たちが喜ぶようにすれば、遠くの人たちは自ずとやってくる。ということです。弊社に当てはめると、先ずは地域の皆様喜んでくださり、貴志川線に親しんでくださっていただければ、それを見たり聞いたりした方は、自ずと遠方から訪れてくださるということではないでしょうか。地域が一丸となって貴志川線を盛り上げ、応援して下さっているからこそ、遠方からはるばるたくさんの方がお見えになっているのだと思います。今後も貴志川線を核として、地域にしっかり根付いた、地域が楽しく元気になるような営業展開をして参りたいと考えております。

地域の皆様とともに

最後になりますが、東京にお住いのお客様から素敵な話をお聞きしましたので、ご紹介させていただきます。廃線も検討された貴志川線ですが、結果、奇跡ともいえる存続を果たしました。しかし、奇跡は偶然とは違うというのです。奇跡は努力の積み重ねで生まれるもので、沿線の住民や自治体、全国で応援して下さる皆様、そして我々事業者、みんなが協力して頑張ったからこそ、奇跡を引き寄せたというのです。このお話を聞いたとき嬉しくなりました。

小さくても、少しでも、そんな奇跡が和歌山から起きるように、地域の皆様や応援して下さっている皆様とともに頑張って参ります。今後とも貴志川線への変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

要望が実現しました

大池遊園駅にトイレが完成

大池遊園駅にトイレが新設され、お花見シーズン前の3月25日から使用開始されました。大池遊園駅にはかつてトイレがありましたが、南海電鉄から和歌山電鐵への移行時に撤去され、観光やハイキングに訪れる人に大変ご不便をかけていました。

貴志川線の未来をつくる会は、便利で利用しやすい駅環境整備要望事項の一つとして、トイレの設置を機会あるごとに紀の川市など関係機関に強く要望してまいりましたが、この程平成27年の「わかやま国体」の開催を控え、和歌山県を訪れたみなさんに快適なトイレを使ってもらうことを目的とした「おもてなしトイレ大作戦事業」により、和歌山県と紀の川市の共同で新設していただくことができました。ご尽力頂いた関係機関、関係者のみなさまに感謝申し上げます。



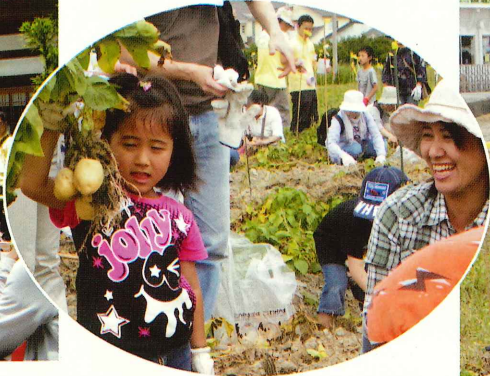
伊太祈曾駅前が整備されます

伊太祈曾駅前の整備工事が和歌山市によって行われています。駅前ロータリーのカラー舗装、ベンチ（日除け付き）や花壇、観光案内地図が設置され、合宿所横広場には送迎、乗車券類購入時の一時駐車場が設けられます。完成は6月末の予定です。

この整備に合わせて5月28日に、伊太祈曾駅の駅舎が社員さんの手で白色に塗り替えられ、くすんでいた駅舎が綺麗になりました。この作業には「つくる会」も応援参加しました。



▲ '13/5/26
「第7回貴志川線祭り」
たま駅長社長代理就任記念3,500人來場



▲ '13/6/9
第6回「貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」 2部制で開催315名参加



▲ '13/8/13
貴志駅 お盆、GW多客期の案内・整理



▲ '13/10/20
「あと4回多く乗って永續させよう」のぼり
日常的に点検して、取り換え・補修を行っ
ています



▲ '13/12/1
利用促進・入会お願いの
ポスティング
新設団地に呼びかけチラシ配布



▲ '14/2/15
第3回駅からウォーク&ハイク パート3
1月から2月に3コースで開催



▲ '14/3/22
大池遊園桜祭り ぶた汁ふるまい 大池遊園駅清掃と提灯と桜の飾り付け



「わがやまおもてなし宣言」に登録しました

平成26年は「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録10周年、平成27年は「わかやま国体」、高野山開創1200年と和歌山県が全国から注目される催事が続き、多くの方々を和歌山県にお越しになります。

「わかやまおもてなし宣言」は和歌山県にお越しの方々へ「わかやまに来てよかった!」「もう一度わかやまを訪りたい!」と心から感じていただけるように、県民総参加で自ら取り組む「おもてなし」を宣言し、実践するものとして、県の提唱で行われています。

貴志川線の未来をつくる会も、定例会でこの宣言に登録することを決めて申し込み、平成25年12月27日付けで登録証が交付されました。

私達の宣言は、

- 1、電車に手を振ってお迎えお見送りをします。
- 2、駅や車内で親切な案内をします

です。みんなで実践し多くのお客様を貴志川線にお迎えしましょう。



つくる会活動日誌 (抄)

2013年 (平成25年)

- 6月 8土 25年度第5回定例会 以降週2回年度内21回開催
- 9日 第6回「貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」(315名)
- 11火 「きいちゃん電車」出発式 伊太祈首駅
- 15土 和歌山市菖蒲が丘団地自治会訪問 協力要請
- 17月 和歌山市宮地区各種団体会長会議 協力要請
- 20木 25年度第3回貴志川線運営委員会以降月1回12回開催
- 21金 和歌山電鐵沿線地域活性化事業実行委員会 (以降3回)
- 22土 25年度会費納入依頼文書・会報発送作業 (スタッフ48名)
- 26水 和歌山市三田地区自治会訪問 協力要請
- 30日 大賀はす「観蓮会」活動展示、グッズ販売 (平池緑地公園)
- 7月 4木 ~5土 和歌山駅9番ホームで会費受付 (入会72名)
- 24水 紀の川市民生・児童委員会議 協力要請
- 27土 キッズ商店街 和歌山市ぶらくり丁 ミニ電車運転
- 28日 第1回「貴志川線に乗ってブルーベリー狩り」(47名)
- 8月 3土 第1回「貴志川線に乗ってブルーベリー狩り」(69名)
- 10土 四季の郷公園「竹灯夜」伊太祈首駅準備、送迎
- 13火 貴志駅多客期応援、13、14、15各日 (延べ11名)
- 9月 14土 第4回「貴志川線電車教室」(14名) 同27日 (15名)
- 22土 三菱電機「黒潮まつり」グッズ販売、利用促進ちらし配布
- 10月 6土 貴志川線コスモロード作り 植栽イベント (11名)
- 12土 紀の川市西貴志コミセン祭り (グッズ販売・入会受付、展示)
- 13日 ~13日 わかやま商工まつり (ミニ電車運転、グッズ販売)
- 13日 日本都市青年会議シンポジウム分科会 助言者派遣
- 23水 たま駅長 ピンクリボンPR大使委嘱式 貴志駅
- 26土 「第34回労働者福祉祭り」ミニ電車運転、グッズ販売
- 11月 25月 「会費納入再要請」文書発送作業 (580通)
- 30土 ~12月1日 「終着駅サミット」代表派遣 富山県城端市
- 12月 1土 貴志駅イルミネーション取付作業 (15名)、点灯式
- 8土 わかやまツアーマーチ (たまちゃんコース) グッズ販売
- 10火 貴志川線利用・入会呼びかけちらしポスティング (11名)
- 21土 たま電車猫耳取り付けセレモニー 伊太祈首駅
- 22日 「クリスマス電車」プレゼント袋つめ作業 (9名)
- 22日 第8回「クリスマス電車」運転 応援 (13名)
- 23月 迎春準備 門松製作、伊太祈首駅に設置
- 25火 那賀振興まちづくり連絡会 会議

2014年 (平成26年)

- 1月 5日 たま駅長就任7周年記念式典 貴志駅 (12名)
- 11土 貴志駅イルミネーション撤去作業 (12名)
- 18土 ①「駅からウォーク」P1、記紀を巡る (参加51名、S11名)
- 19日 和歌山電鐵貴志川線活性化PJと意見交換会
- 25土 「絵手紙電車」準備作業 台紙に貼付け (3者で23名)
- 30木 ③「駅からウォーク」P2、交通管制S (参加28名、S11名)
- 2月 6木 「絵手紙電車」準備作業 車内に展示 (3者で21名)
- 9日 じゃがいも苗植え付け (雨天の為予定変更) つくる会 (3名)
- 11火 ニタマ駅長就任2周年記念式典 伊太祈首駅 (3名)
- 15土 山東地区の将来を考えるシンポジウム パネラー派遣
- 22土 ①「駅からウォーク」P3、熊野古道 (参加54名、S14名)
- 22日 「紀の川まるごとちそうさん」イベント出店 グッズ販売
- 3月 9日 「春みつけたハイキング」下見、貴志~大池遊園 (6名)
- 17月 春イベント協力要請 和市東部第5B支所・出張所訪問
- 19水 「いちご電車でいちご狩り」応援 (3名参加)
- 22土 大池遊園駅桜祭り準備、提灯飾り付け、清掃 (17名)
- 4月 6日 ②「大池遊園桜祭り」春みつけたハイキング (15名)
- 12土 25年度第1回定例会 (以降6月14日で5回開催)
- 13日 「第9回貴志川線に乗ってたけのこ掘り」①(参加94名)
- 19土 「第9回貴志川線に乗ってたけのこ掘り」②(参加74名)
- 20日 じゃがいも掘り準備 草引き 26名 (つくる会7名)
- 26日 和歌山県中央メーデー ミニ電車運転、グッズ販売
- 5月 28土 「第9回貴志川線に乗ってたけのこ掘り」③(参加85名)
- 3金 ~6火 貴志駅GW多客期応援 (延べ19名)
- 12月 じゃがいも掘り協力要請 和市東部第5B支所・出張所訪問



▲ '14/2/1~
絵手紙電車運転
(4/6まで)
岩出市絵手紙愛好クラブ
のご協力で、全国から
1,436枚寄せられる

▲ '14/1/19
和歌山大学と
意見交換会
貴志川線沿線活性化
PJの学生さんと



▲ '13/6/30
活動展示、利用促進PR、
グッズ販売各地で実施
(平池緑地公園大賀ハス
「観蓮会」)

▲ '14/4/12
「第9回貴志川線に乗ってたけのこ掘り」
3日開催し253名が参加

チャレンジ あと4回多く乗って
250万人 永續させよう!!

~あなたの乗車が貴志川線の永續につながります!~

貴志川線の収支均衡には、年間250万人の乗車人員が必要です、25年度の乗車人員は223万8千人ですからあと26万2千人増やす必要があります、私達沿線住民があと1年間に4回多く乗れば達成できます。和歌山電鐵では「250万人祈念 あと4回きっぷ」を発売して利用を呼びかけています。皆様の一層のご利用をお願いいたします。

貴志川線の未来を“つくる”会 平成26年度(2014年)活動計画

～行政の支援はあと1年余、貴志川線の永続を確実にするための活動を進めます～

昨年度は過去最高の乗車人員を記録したとはいえ、赤字経営は続いており自治体の運営費補助期限の2015年度末まであと1年余となりました。自立経営による永続を目指して「チャレンジ250万人運動」に取り組むと共に、行政の支援が継続されるよう強く求めて、住民の熱意と行動を集め活動します。

I. 基本方針

行政の支援期限が1年余となった今、地域の財産、住民の足のみならず、和歌山県観光の大きな資源である「貴志川線」の永続を確実なものとするため、乗車人員250万人の実現と合わせて引き続き行政の支援が実現するよう、和歌山電鐵、自治体、関係諸団体と連携して、まちづくりの活動と結び取り組みます。

II. 貴志川線の現状と課題

貴志川線の平成25年度運輸実績は、消費増税による駆け込み需要(推定計6万人)を除いても年間乗車人員は223万8千人(対前年比103.3%、7万2千人増)となり、創業以来過去最高を記録しました。

この好成績の要因は、海外からの来訪者の増と「あと4回きっぷ」の発売、通学定期の好調など取り組んでいる「チャレンジ250万人」運動が一定の成果をあげていると言えます。

しかし、過去最高を記録したとは言え、自立経営に必要な乗車人員250万人はまだ実現できておらず、24年度から3年計画で取り組んでいる「チャレンジ250万人」運動の25年度目標239万2千人に対して223万8千人で、達成率は93.6%となっており、あと15万4千人不足しています。

収支状況は25年度決算では、運輸収入は対前年比104.9%の3億3,939万6千円とやや増となり、またグッズ販売は前年比17.3%と拡大しましたが、電気料金の値上げによる動力費の増等により、経常収益は4億4,700万円で当期損失は8,147万円の赤字となり、運営補助金(上限8,200万円)の範囲内におさまったものの9年連続して赤字経営が続いており、今年度は駆け込み需要の反動が予想され厳しい状況が続くと考えられます。

行政の支援があと1年余となった現在、8年連続の赤字経営という現状のまま推移し、行政の補助がなくなれば再び廃線の危機を迎えることになり、永続するためには行政の補助を引き続き実施して頂くとともに、観光客誘致と合わせて沿線住民の利用を増やすことが何としても必要です、乗車人員増加へ自治体や関係団体、地域と連携してまちづくりと結び、積極的な取り組みを行う事が求められています。

III. 重点目標

(1) 貴志川線の自立経営へ輸送人員250万人の実現を目指して引き続き活動を行います

- ①「チャレンジ250万人」最終年度の目標実現へ取り組みます
- ②沿線住民への貴志川線利用の呼びかけを積極的に行います

(2) 行政の補助が引き続き実施されるよう取り組みます

- ①関係機関への要望、要請行動に取り組みます
- ②完全な上下分離方式による経営実現を目指して、和歌山電鐵と協働して取り組みます

(3) 快適・便利で利用しやすい貴志川線をめざします

- ①伊太祈曾～貴志間の増発を実現するため、大池遊園駅の対向設備の復活を引き続きめざします
- ②日前宮～神前駅間に新駅の設置を引き続きめざします
- ③駅設備、ダイヤ、サービス、収入増などの要望集約と提言をまとめ実現を求めています



IV. 具体的な取り組み

(1) 地域活性化と結び住民の声と想いを結集して活動できる組織づくりに取り組みます

- ①今年も会員3,000名以上を目標に入会の呼びかけを積極的に行います
- ②チャレンジ250万人運動の強化へ、利用呼びかけと意見・要望をお聞きする自治区懇談会「こんにちは」

貴志川線です」(仮称)を和歌山電鐵と協力して開催します

- ③「山東まちづくり会」など地域活性化の活動を進める皆さんとの協働行動に取り組みます
- ④「定例会」出席とボランティアスタッフ登録・参加を積極的に呼びかけます
- ⑤会員限定イベントの開催など、会員特典の実現に取り組みます
- ⑥ホームページ、貴志川線ニュース、会報などを通じ広報、宣伝、啓発活動に取り組みます
- ⑦「貴志川線の未来をつくる会」結成10周年を記念する取り組みを行います

(2) 利用促進と「日本一こころ豊かなローカル線」づくりに取り組みます

- ①「あと4回多く乗って永続させよう」の周知と「あと4回きっぷ」の販売に取り組みます
- ②利用促進へ和歌山電鐵と協働、協力して各種イベントを開催します
- ③大池遊園に賑わいを取り戻すため「大池遊園桜まつり」を引き続き開催します
- ④地域との結びつきを強めるため、今年も「第9回貴志川線祭り」を開催します
- ⑤利用者、住民の要望を集約し和歌山電鐵や貴志川線運営委員会に提言します
- ⑥「全駅調査」による駅清掃・整備計画を作り各駅の美化・整備活動に取り組みます
- ⑦わかやまおもてなし宣言に登録した「電車に手を振ってお迎え、お見送ります」、 「駅・車内で親切な案内をします」を会員に周知し、実行に取り組みます
- ⑧わかやま国体(2015)、高野山開創1200年(2015)、貴志川線100周年のビッグイベントを迎え利用者増に結びつける準備を進めます
- ⑨乗って楽しい貴志川線作り、沿線と駅の景観づくりに取り組みます

(3) 地方交通の存続と活性化へ学習・政策活動に取り組みます

- ①学習会、シンポジウム、ワークショップなどの開催と、参加に取り組みます
- ②地方鉄道を守り、発展させる活動を行っている諸団体との交流、協働に取り組みます
- ③公共交通維持強化の政策学習と資料の収集、活用に取り組みます



2013年度 貴志川線の未来をつくる会 会計決算報告

2013年4月1日～2014年3月31日

納めていただいた会費の決算についてご報告いたします

皆様に納めていただいた2013年度(平成25年度)会費の会計決算について、2014年4月26日開催した26年度第2回定例会(役員会)において、承認いたしましたのでご報告いたします。

- 収入は、2013年度(平成25年度)会員2,161名の会費と、前年度繰越金および寄付金、和歌山電鐵グッズ販売手数料、貴志川線祭り売上げ、預金利息等で収入総額は423万5,280円となりました。
- 会員数は、昨年比46名の微減となりましたが、皆様のご協力で会発足以来2,000名以上を確保することができました、ここ数年微減が続いておりますので、会員の拡大を図っていかねばなりません。
- 寄付金は昨年より49名多い152名様より、昨年比10万8,100円の増と財政に大きく寄与しました。
- 支出は、節減に取り組んでまいりましたが、利用促進の取り組みとして「大池遊園桜まつり」の充実はじめ各イベントの宣伝強化、会員特典として「たけのご掘り」と「じゃがいも掘り」の会員限定の募集案内はがきの送付などで事業費、通信費、広告宣伝費が増加して、支出総額は昨年比70万2,277円の増となり、次期繰越金は昨年比63万7,485円減となりました。
- 繰越金の処理について 次年度繰越金93万2,004円は全額次期一般会計に充当いたします。
- 「基金」および「特別会計」について
- ①「貴志川線整備基金」について、行政の欠損補助が10年間の限定であり、貴志川線の施設、車両の老朽化が進んでいることからその対応に備えて2007年(平成19年)ら積み立てているものです。
- ②「ニュース和歌山25周年記念助成金」についてニュース和歌山社様から2008年(平成20年)3月12日に寄贈いただいたものです、その用途を明らかにするため特別会計を設けて管理しており、当期支出はしておらず、預金利息85円が増となりました。

2013年度決算報告

〈収入の部〉

科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	1,569,489	2012年度繰越金(会費預かり金6,000円含む)
会 費	2,161,000	2013年度会員 @1,000円×2,161名
雑 収 入	504,791	寄付金(152名様)、グッズ販売手数料、貴志川線祭り売上げ、普通預金利息等
合 計	4,235,280	

〈支出の部〉

科 目	金 額	摘 要
通 信 費	738,108	郵送料金(会費納入、年賀状、貴志川線祭り、会員限定イベント案内印刷物)、各種文書メール便料金等
郵 便 振 込 料	146,890	会費振込料(つくる会負担) 1,292名分
事 業 費	1,586,659	貴志川線祭り、たけのご掘り、じゃがいも掘り、桜まつり、イルミネーション等各種イベント開催経費、駅美化
広 告 宣 伝 費	441,210	三社参り新聞広告費用、チャレンジ250万のぼり、ポール、未来をつくる会活動の歴史掲示用幕
事 務 費	231,489	役員会会場・倉庫使用料、各種文具事務用品、コピー代、ホームページ費用、トランシーバー購入等
交 通 費	157,920	イベント66件、スタッフ延べ242名の交通費実費
預 り 金	1,000	本年度会費に1名分充当
合 計	3,303,276	

会計監査報告

2014年4月25日

貴志川線の未来を“つくる”会
代表 濱口晃夫 殿

監 査 山本好延 (印)
監 事 中西充子 (印)

貴志川線の未来を“つくる”会 会則第6条第8項に
もとづき2013年度(平成25年度)会計監査を実施
したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2014年4月25日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務局
3. 監査対象 2013年度会計
4. 監査期間 2013年4月1日～2014年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・証拠書類等が、正確かつ適正に
処理されていることを認めましたので
報告いたします。

以上

〈決算内容〉

収 入	4,235,280	
支 出	3,303,276	
次年度繰越金	932,004	(H26～H30年度会費預かり金5,000円含む)

〈繰越金内訳〉

普 通 預 金	790,632	(紀陽銀行 国体道路支店)
現 金	141,372	
合 計	932,004	(預かり金5,000円含む)

〈基金内訳〉

定 期 預 金	2,515,656	貴志川線整備基金(紀陽銀行 国体道路支店)
---------	-----------	-----------------------

〈特別会計内訳〉

普 通 預 金	751,142	ニュース和歌山25周年記念助成金(ゆうちょ銀行和歌山友田郵便局)
---------	---------	----------------------------------

ひろば

会員のみなさまからの感想や要望、ご意見をご紹介します。

和歌山電鉄・貴志川線の会員の知恵をおつめて。



新生貴志川線に移管して8年が経過して、経営の安定化を目指し、指標とする一日の乗車数にあと800人不足していると言う。

そこで提案を一つ。

新生貴志川線の発足を目標として活動をすすめる中で開催された「乗って残そう貴志川線フォーラム」の小学生の発表に参加者一同感激されたことを思い出して、今一度「全ての会員の皆さんに知恵を出し合って」頂き、その中で可能なことは「今出来ることを全力でやりきろう!!」を掲げて、今年度全会員で取り組んではどうでしょうか？

皆さんの知恵の中に大事な視点があるように思いますが…
鳴海 義之さん(兵庫県神戸市)

たま駅長は神奈川でも有名ですよ



数年前、孫達と貴志川線に乗車した時の子供たちの驚きと喜んだ様子が今も目に浮かびます。

孫のアンコールに应运え、貴志駅と和歌山駅間を何度も往復して「たま駅長」に会いました。私の在郷中の貴志川線は、長閑な景色の中をゆったりと走り、その名を聞くだけでも哀愁を誘う電車でした。

時を経て、沿線には綺麗な住宅が建ち、子供たちの声援を受けてカラフルで夢のある電車が走っています。

当地でも、貴志川線と「たま駅長」を知る人は多く、友人夫婦は、四国遍路満願の記念に貴志川線に乗って「たま駅長」に会ってきたと嬉しそうでした。貴志川線永続の為に努力していらっしゃる多くの方々の活動に感動しています。貴志川線の益々のご発展をお祈りします。

浜口 道代さん(神奈川県川崎市)

自己紹介のつかみばたま電車



子どものころ日曜日に百貨店へ連れて行ってもらったのも、学生時代通学するのも電車でした。そして今も貴志川線で通勤で、いつもお会いする方々と、はじめはご挨拶だけ、しかし気が付けばすっかりお知り合いになり、車中楽しく過ごさせていただけなのも、私が貴志川線からいただいたご縁です。関東に住む息子が東京で催された水戸岡氏の展覧会に寄せていただき、故郷を懐かしむひと時をいただいこともあったようです。今春新しい職場で自己紹介をする機会があり、やっぱり「『いちご、おもちゃ、たま電車』」でお馴染みの貴志川線の沿線に住んでいます。」と、自然と口に出している自分に気が付く私でした。そんな、貴志川線とは切っても切れない私の日常です。

竹内 裕子さん(和歌山市吉礼)

動く美術館「絵手紙電車」



昨年10月私たちは「絵手紙で貴志川線を応援しよう」と和歌山電鉄に「絵手紙を電車内に展示してほしい」と交渉し、11月から募集を開始することとなった。私たちは日本絵手紙協会を通じて全国の仲間に応募を呼びかけるとともにマスコミにも働きかけたところ、12月末の締切日には当初の予想をはるかに上回り北海道から九州まで各都道府県から1,436通の応募がありうれしい悲鳴をあげました。

2月1日の運行開始からNHKを始め各新聞社等にも大きく取り上げられて反響を呼び、私の知る限りで千葉、埼玉、群馬、石川、広島、岡山県など遠来の府県はもちろん近畿地方各地や近隣市町村から多くの人々が「絵手紙電車」に乗りに来てくれました。

「ワー素晴らしい!!」「絵手紙って和ませてくれるね」「絵手紙の力ってスゴイね」などと称賛の声が聞かれ、企画した私たちはうれしく思いました。

2か月余の運行期間中にどれだけ乗客数が増えたのかは知りませんが、相当の手応えを感じ貴志川線に貢献できたものと自負しております。ご協力いただいた貴志川線の未来を“つくる”会の皆様ありがとうございました。

今後の貴志川線のますますの発展を願っています。

島本忠生&佳代子さん(岩出市金池)

ボランティアスタッフ募集しています!

貴志川線の未来をつくる会は、貴志川線の応援団として永続を目指して様々な取り組みを行っています。その活動に参加して下さるボランティアスタッフを募集しています。

ご協力頂ける方は、お送りしております26年度会費振込票のボランティアスタッフの登録を「希望します」に○印をお付け下さい。

(活動内容) 駅の清掃、イベント、駅での案内・整理、駅プランター散水・花づくり、郵便物発送作業、情報発信(ポスター、ちらし作成)等



定例会のご案内

定例会は月2回(第2・第4土曜日 19時から)開催しています。どなたでも出席いただけます。ご連絡お待ちしております。

代表 濱口 晃夫まで

☎0736-64-6866

編集後記

本号も編集委員会を設置して発行しました。寄稿して下さいの方々、無理な注文に応じて頂いた紀州商合印刷さんに感謝申し上げます。

行政の支援もあと1年余、25年度は過去最高の実績とは言え開業以来赤字経営が続いています。永続に向けて行政の支援を得ながら私達住民も正念場と捉えて頑張っていかなければならない時期を迎えています。その思いが紙面から伝わればと編集委員会は願っています。(和)